



チューモくん日記 #視覚障害者の生活～ココヨム～

秋田県立視覚支援学校オリジナルキャラクターのチューモくんです。

今回は、お菓子の箱に付けられた溝について、本校の全盲教員・ゴトウさん（仮名）に使い勝手を試してもらいました。

チューモ君：ゴトウさん、「ココヨム」はもう試しましたか？

ゴトウ：それはなんですか？

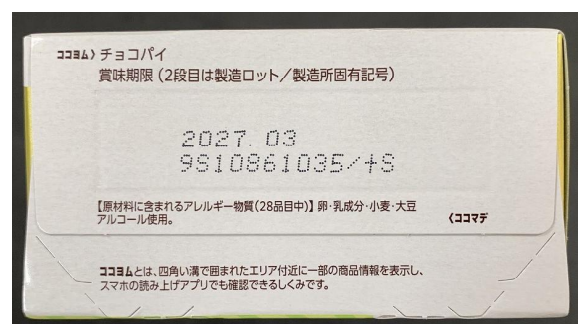
チューモ君：ロッテのお菓子の箱に付けられた、四角形の溝なんですけど、その面に、賞味期限や製造番号、アレルギー物質の情報などが書かれているんですよ。スマホの読み上げアプリで読み取るときに、どこを写せばいいか分かりやすいという取組です。最近、お店で見つけました。

ゴトウ：触ってみていいですか？
（箱のあちこちを触ってみる）



チューモ君：一番小さい四角の面（小口）に付いてますよ。

ゴトウ：ああ、ここですね。とても分かりやすいです。反対側には、付いていない、と。うん、分かりやすいです。



チューモ君：スマホで読み取るのは、どうですか？

ゴトウ：SeeingAIを使ってみますね。（読み取る）
ちゃんと全部読み取れました。「ここまで」と書かれているので、最後も分かりやすいですね。
これは、全部の商品に付いているんですか？

チューモ君：今のところ、ロッテの一部の商品ですけれど、ロッテでは、他のメーカーにも呼びかけたいらしいですよ。

ゴトウ：それはいいですね。

あと、できれば、袋菓子にも同じような工夫がほしいですね。この前、自分で買ってきたのり塩味のポテトチップスと間違えて、妻のコンソメ味のを食べて叱られたので。

チューモ君：いや、それは、SeeingAIで袋の前面を読み取ればいいのでは？

でも、賞味期限やアレルギー物質の情報は、すべての商品で分かりやすくなるといいですね。

<解説>

菓子メーカーのロッテは、2026年8月下旬に、商品名や賞味期限、アレルギー情報などを記載した位置を触って分かるようにしたパッケージの仕組みを発表しました。

紙箱に設けた四角の溝を目印にすることで、視覚障害者が音声読み上げアプリを使う際、スマートフォンのカメラを向ける場所を探しやすくなるというもので、「ココヨム」という名称とし、他のメーカーにも広げていきたいとしています。

「チョコパイ」「カスタードケーキ」「プレミアムガーナ」を対象に、9月から順次投入とされていて、スーパーに行くたびに探していたのですが、10月に入り、秋田市内でもようやく見かけるようになりました。

※チューモ君とゴトウさんのやりとりの中に出てきたSeeingAIとは、文字情報や周囲の様子、お札の種類、色、明るさなどを読み取ってくれるアプリです。

